

## 評価員の合議の概要

<b>施設名</b>	箕面市立障害者福祉センターささゆり園
<b>指定管理者名</b>	社会福祉法人あかつき福祉会
<b>開催日時</b>	平成27年（2015年）8月25日（火）14:00~15:40
<b>開催場所</b>	箕面市立総合保健福祉センター2階 会議室3
<b>合議の出席者</b>	箕面手をつなぐ親の会 副会長 今井綾子氏 箕面市肢体不自由児者父母の会 副会長 五十嵐典子氏 箕面市障害者市民施策推進協議会 前座長代理 切通晃氏

【概要】別添のとおり

内容

平成27年8月25日（火）に箕面市立総合保健福祉センター2階の会議室3にて、指定管理者の評価の合議を実施しました。その中で、下記の意見が評価員から提出されました。

（指定管理者の説明：「指」）

## 1. 利用者アンケートについて

### 【要望・提案】

- ・ アンケートの設問は、家族が答えるのか、本人が答えるのか対象をはっきりさせて、作成する方がよい。設問は、家族向けと本人向けに別で作成し、記入シートも別にするなど工夫してほしい。
- ・ **指**：対応を検討する。
- ・ アンケートの結果は、3年間大きな変化がない。意見交換会などを行ってはどうか。

**市**：市全体の統一手順として、意見交換会は不特定多数の利用者が利用する施設で実施するものとしている。あかつき園・ワークセンターささゆり、ささゆり園は、利用者が限られるためそぐわないと考え、実施していない。

このほか、過去のアンケートでのご意見をふまえ、今年度はアンケート集計作業を他事業者に委託した旨の説明が指定管理者からありました。

## 2. 指定管理事業について

### 【質問・確認】

- ・ ささゆり園の放課後教室は、夏休みの間、どのように職員を配置しているのか。

**指**：放課後教室専従の職員を配置している。当該職員は、夏休み期間外で

放課後教室がない時間帯は、生活介護の現場に入っている。

- ・ 放課後教室を3日にしたのはなぜか。

**指：**現利用者の利用状況等を踏まえて変更した。

- ・ 放課後教室は今後も続けるのか。

**指：**放課後等デイサービス事業に民間事業者が多数参入してきている。市立施設としてどのような方針で進めるべきか市と協議中である。

#### 【要望・提案】

- ・ 和室で行う茶華道教室に、車椅子利用者が参加しにくいのか。参加者が減っているようだが、車椅子利用者は和室と聞いてはじめてから参加をあきらめているかもしれない。野立てにしたり、他の部屋を使うなど、他の形態を検討してはどうか。

**指：**茶華道教室そのものの継続を検討中である。パソコン教室など新しいニーズがあるのではと考えている。

### 3. 指定管理者について

#### 【質問・確認】

- ・ 大阪府社会福祉協議会の第三者評価を受けたとのことだが、結果はどうだったのか。どのような指摘があったか。

**指：**まだ正式な評価結果は出ていないが、書類の整備などについての指摘があった。また、評価を受けて、利用者が中心となって主体的に意見を出すような企画を充実させる必要を感じている。

- ・ 職員の外部研修はあるか。内部研修はどのようにしているか。

**指：**各職員が研修に行って持ち帰った内容を共有したり、法人として職員に応じた研修を行っている。

**【要望・提案】**

- ・ 現場職員の支援スキルの差が大きい。福祉の職場は人材が重要であり、良い人に来てもらえるよう、魅力的な職場であることが求められる。職員が、本人の支援に積極的に関わっていく気持ちを持つことが大切である。

**指：**人材の発掘、育成に努めていく。

4. 施設・設備について

**【質問・確認】**

- ・ 福祉避難所として必要な備品は、揃っているのか。

**指：**あかつき福祉会として、あかつき園・ワークセンターささゆりとささゆり園に3日分の水と食糧を備蓄している。薬の備蓄はできないと考えている。呼吸器のかたなどは、医療機関に行っていただくほうが設備は充実しているかもしれない。

- ・ 電気系統の点検を細かな頻度で実施しているが、必要か。

**指：**法定点検で行っている。

**【要望・提案】**

- ・ ささゆり園駐車場から、車で道路に出るときのミラーが見えにくい。大きなミラーは見えるが、小さいほうのミラーが見えにくい。

**指：**対応を検討する。

5. 総評

評価員からは、総評として下記の意見が出され、総じて指定管理者制度と

して円滑な運営を行っているとの評価をいただきました。

- ・ あかつき福祉会には大きな期待がある。他の事業所も増えているが、リーダー的な存在であってほしいと期待している。
- ・ そのため、良い人材を引き続き確保できるように、支援技術等に関する研修に加えて、職員間の連携を深める職場づくりも進めていただきたい。
- ・ また、重度障害者の本人ニーズをくみとるのは易しいことではないが、今後も本人から引き出す工夫を継続していただきたい。
- ・ 親や利用者本人の高齢化により、あかつき福祉会への期待はさらに大きくなっていく。指定管理施設での関わりに加えて、利用者の生活全般にふみこんだ支援を行えるよう、支援計画による親への提案やフォローも期待したい。